

国際関係学部 国際メディア学科 専門教育分野 TLO: Target and Learning Outcomes

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバ	ナパ リク	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー						
						授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指すし、何を到達目標とするか。	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
								多角的な視野からの幅広い知識と教養を身につけている	国際社会におけるメディアの役割を理解し、情報の受発信についての技術力と実践力及びコミュニケーション力を身につけている	国際社会の多様な価値観や文化を理解し、自立的かつ協働して諸問題に取り組むことができる	メディアから発信される多様な情報を収集・分析し、論理的で多角的かつ批判的思考をもとに問題の解決に取り組むことができる	市民として社会に対して関心を持ち、グローバルな視点からメディアやコミュニケーションに関する知見を活かして社会に貢献することができる		
必修	国際関係学入門	M-IRE101	100 (200)	講義	2	国際関係学の全体像を提示し、2年次以降の専門科目履修に際しての学修計画の指針を提供する。	諸国際問題について、基礎的な理解ができ、全体像を把握できるようにする。	◎		○			○	
	基礎演習	M-SEM201	200	演習	2	国際問題に対する多様なアプローチを知ることで、国際関係という学びの分野の全体像を把握させる。	国際問題について基礎的な理解をする。次年度以降の専門学修を計画立案する指針を作る。		○	○	◎			
	専門演習	M-SEM301	300	演習	2	学部の専門分野から選択し、その研究に必要な基礎知識と実践方法を少人数クラスで徹底して学ぶ。	専門研究の必修スキルである読解・調査・発表・討論等の能力を身につけ、さらなる学修の準備をする。					◎	○	
	卒業研究	M-SEM401	400	PBL	4	基礎演習での学修を踏まえ、さらに各専門分野についての知見と実践を深める。	高度な専門性を有する分野について、研究発表や論文執筆などの実践的な能力を身につける。	○				◎		
卒業研究	メディア産業論	M-MED101	100 (200)	講義	2	グローバル・メディアを学ぶ入門科目として、情報通信、広報・広告、映像、コミュニケーション、観光、メディアと言語などを総合的に学び、今後の専門学修に役立つ。	グローバル・メディアを学ぶための様々なテーマや専門科目の概要を理解し、今後の専門科目・演習の履修選択や卒業後の進路について指針を得ることができる。	◎	○					
	コミュニケーション理論	M-MED205	200	講義	2	マス・コミュニケーション分野における基礎的な理論研究の概観と歴史的な流れを中心に論じ、昨今のSNS事情等も含めたメディアを巡る社会問題の背景とその構造を提示する。	メディア分野の理論研究の基礎的な内容を理解できる。自身の研究テーマや関心分野との関係性を理解できる。必要に応じて教科書や参考文献等の専門書を参照、内容を理解できる。	○			◎	○		
	スポーツジャーナリズム	M-HES233	200 (300)	講義	2	「スポーツとは何か」を求め、スポーツの舞台の表と裏の事情をその課題とともに探る。	スポーツが置かれている国内外の現状を理解し、それらの課題とともに社会に如何に伝えるかについての理論と実践を身につける。	○			◎	○		
	メディア史	M-MED208	200	講義	4	我が国のメディア史を中心に、ジャーナリズムのみならず、映画や出版等も含めた大衆文化、さらにはインターネット等の情報通信分野に至るまでメディア分野の歴史を幅広く提示する。	メディアの発展過程に関する基本的な内容を理解できる。自身の研究テーマや関心分野との関係性を理解できる。日常生活で利用しているメディアや関連サービスの背景を理解できる。	○	◎				○	
	情報政策論	M-MED209	200 (300)	講義	4	情報政策を巡る歴史や産業動向等を含めて多角的な視点から論じることで、昨今、国際問題としても注目される情報通信産業を巡る課題とその社会的背景を提示する。	情報政策分野の概観と関連研究に関する基本的な内容を理解できる。自身の研究テーマや関心分野との関係性を理解できる。日常生活で利用している情報通信サービスの背景を理解できる。	○				○	◎	
	メディア・倫理法制	M-MED210	200 (300)	講義	4	立憲民主主義国家を形成維持していくために必要な「政府に対する監視機能」「国民への情報提供機能」としてのマスメディアのありかたについて理解する。	社会情報の信頼性について自ら判断し、また近年盛んなSNSとの関わりかたなども含めて、デマゴーグや偏激な情報に惑わされないメディアリテラシーを身につけることができる。	○				○	◎	
	出版論	M-MED211	200 (300)	講義	4	現場で働く編集者の仕事をケーススタディで学ぶと同時に、出版文化や出版の歴史について理解する。	編集の仕事、情報収集や人脈づくりのケーススタディ、企画立案、取材、記事、原稿執筆の修得。		◎					○
	写真演習	M-MED212	200 (300)	講義	4	的確に写真に収める写真技術や表現力を身につけ、将来仕事として写真に関わっていく人にとっても、実践的な撮影テクニックと様々な表現技法の実習により習得する。	撮影技術・表現技法の習得し、デジタル写真を基礎技術を学習し、自分の仕事やパフォーマンスに即戦力につながるディレクション力を習得するとともに各自のオリジナリティに溢れたレポートやアート作品の制作を目指す。			◎			○	
	取材・ライティング演習	M-MED213	200 (300)	講義	4	「自分にしか書けないことを、誰にもわかる文章で書く」力を身につける。	第一に、わかりやすい文章を書くための技術を習得し実践できる。第二に、読者を喚起する原稿をつくるうえで必要な取材の方法を会得し実践できる。第三に、第一・第二の知識・技術を駆使してコラムやエッセイ、対談・インタビュー記事などさまざまなスタイルの原稿をつくることできる。	○	○				◎	
	広告演習 I	M-MED204	200	演習	4	広告がどんな背景・狙いで作られているのかを理解し最新事例を取り上げつつ具体的に広告制作を学ぶ。	広告の役割・狙いを理解し、様々な角度から物事を考え、発想力、表現力を養いアイデアを企画書にまとめられるようになる。また、協議して課題を解決する力を養う。		◎		○			
	映像制作 I	M-MED202	200	実習	4	映像メディアに関する知識を深め社会的な関心を持つ。映像表現にどのような可能性があるかを学ぶ。グループ作業や学外取材によって自主性や規律・チームワークを学ぶことも目的とする。	映像の取材・カメラ撮影・映像編集で学んだ映像表現の技術を生かし、グループで協力しながら、スタジオで収録する番組を企画制作、ネット配信などを到達目標とする。			◎			○	
	映像制作・取材	M-MED203	200	実習	4	映像メディアに関する知識を深め社会的な関心を持つ。特に映像の撮影に関する知識・技術を学ぶ。グループ作業や学外取材によって自主性や規律・チームワークを学ぶことも目的とする。	HDビデオカメラ(SONY HXR-NX70)を使用して撮影に関する基本的な知識・操作を取得し、最終的に個人で取材インタビュービデオ撮影し提出することを到達目標とする。	○	◎				○	
	ナレーション演習	M-MED214	200 (300)	演習	4	スタジオシステムの活用(録音)、視聴し、講師の講評を受ける。このことにより、自身の表現力などを冷静に分析し、自己のコミュニケーション能力改善に活かす。アナウンスメントの現場に携わる講師の経験を得られ、「話す、読む、聴く」の力を高める。さまざまなジャンルの作品に触れることで語彙を増やし、思考力・判断力を高める。	自身の考えを論理的に分かりやすく伝えられるようになる。「豊かな日本語」、「正しい敬語」を駆使し、他者と適切なコミュニケーションをとれるようになる。「他者に元気を感動を与える」「他者に感謝を伝える」「他者を励ます」ことのできる表現者になる。	○		◎			○	
	広告メディア論	M-MED306	300	講義	4	国際社会における多様なメディアを支える広告ビジネスと広告コミュニケーションについて幅広い知識と基礎的な理解力、実践力を学ぶ。(1)広告コミュニケーションの送り手・創り手の専門性・実践力と応用力を学ぶ。(2)メディアの受け手・利用者として有料(サブスク等)と無料(広告)のビジネスを学ぶ。(3)グローバルなメディア・コミュニケーションのリテラシー(読み書き)を習得する。	(1)国際社会・ビジネスで活躍するための広告コミュニケーションの専門性・実践・応用力。(2)国際メディア・ソーシャルメディア等の企画・実践するための専門性・実践・応用力。(3)広告・コミュニケーションを通じてのメディア・リテラシー(読み書き)の獲得・実践力。				◎	○		
	パブリックリレーションズ	M-MED319	300	講義	4	パブリック・リレーションズ(PR=公共関係)の観点から、個人・組織・団体と、国際社会・市民・顧客・就職希望者・投資家などとの双方コミュニケーションの基礎知識と基本実務について幅広い知識・理解を深め、国際社会で活躍するために必要な専門性・実践力を学ぶ。	(1)政府・行政・企業・NPO(非営利法人)・NGOなどのPR専門職の仕事の基礎的理解。(2)広報・PRの具体的な業務としての記者会見・取材対応などの実務・実践力・応用力養成。(3)地方自治体の行政広報・大学・病院等の法人広報、地域振興・観光PR等の専門性理解。			◎		○		
	ソーシャルメディア・コミュニケーション	M-MED316	300	講義	4	近年、その社会的な影響力が注目集めているソーシャルメディアを巡る歴史、市場、事業戦略、社会問題、法制度等も含めた多角的な視点から論じ、その背景と社会との関係性を提示する。	ソーシャルメディアの背景を理解できる。ソーシャルメディアと社会を巡る問題について理解できる。日常生活で利用しているソーシャルメディアのリスクと課題を理解できる。	○				◎	○	

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバリング	ナンバリング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー				
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
								多角的な視野からの幅広い知識と教養を身につけている	国際社会におけるメディアの役割を理解し、情報の受発信についての技術力と実践力及びコミュニケーション力を身につけている	国際社会の多様な価値観や文化を理解し、自立かつ協働して諸問題に取り組むことができる	メディアから発信される多様な情報を収集・分析し、論理的で多角的かつ批判的思考をもとにして問題の解決に取り組むことができる	市民として社会に対して関心を持ち、グローバルな視点からメディアやコミュニケーションに関する知見や技能を活かして社会に貢献することができる
	雑誌編集	M-MED308	300	演習	4	雑誌編集に必要な素養を身につける。	第一に、総合雑誌の歴史をたどり、日本近代史において果たした重要な役割を探る。雑誌に限らず、メディアは、時代の流れにより変容することを知り、メディアの発展の歴史を学ぶ。第二に、雑誌編集業務の技術の習得を。第三に、雑誌を含むメディアの将来像を具体的に描く。	○	◎			○
	広告演習Ⅱ	M-MED305	300	演習	4	広告の背景・狙いを理解し、発想力・表現力を養う。最新事例を取り上げつつ、具体的に広告制作を行う。	広告の背景・狙いを理解し、具体的な調査などから洞察力を養う。また広告制作の作業を通して発想力・表現力を磨き、協調して課題を解決する力を身につける。	○	◎	○		
	映像制作Ⅱ	M-MED302	300	実習	4	映像メディアに関する知識を深め社会的な関心を持つ。映像表現にどのような可能性があるかを学ぶ。グループ作業や学外取材によって自主性や規律・チームワークを学ぶことも目的とする。	映像の取材・カメラ撮影・映像編集で学んだ映像表現の技術を生かし、グループで協力しながら、レベルに達するビデオ作品企画制作し、最終的に一般公開することを到達目標とする。		◎		○	○
	映像制作・編集	M-MED301	300	実習	4	映像メディアに関する知識を深め社会的な関心を持つ。特に映像の編集に関する知識・技術を学ぶ。グループ作業や学外取材によって自主性や規律・チームワークを学ぶことも目的とする。	PC(Macintosh)を使用した写真・イラスト・動画編集ソフトウェアの基本操作を取得し、最終的に個人でイラスト・短編動画を完成させ提出することを到達目標とする。	○	◎			○
	先端メディア・テクノロジー特論	M-MED315	300	講義	4	人間が利用してきた様々なコミュニケーション手段(メディア)について、視聴覚に始まり文字のリテラシー(読み書き)から映像表現・AIやアバターまでの変化について学ぶ。(1)人間コミュニケーションの基本「話す・聞く・読む・書く」の技術の幅広い知識。(2)異なる文化背景や母語を超えたグローバルなコミュニケーション手段の理解・関心。(3)最先端のメディア・テクノロジーの課題発見と利活用の実践力と応用力。	(1)人間の言語(話す・聞く・読む・書く)を記録・伝達・幅広く伝える技術の実践・応用。(2)「計算する機械」(コンピュータ)からAI(ロボティクス)までの幅広い理解が可能になる。(3)先端メディア・テクノロジーのグローバルな展開に関する専門性を理解・応用する力			◎	○	
	コミュニケーション調査法	M-MED307	300	講義	4	コミュニケーションの流れや過程や形態や表現や結果をみながら、そこでわかったことを人に伝えるための社会調査の技法を学ぶ。	調査の前提や考え方、基本ルールの理解、調査設計からデータの収集、分析、仮説の検証、考察などについて理解する。	○	○			◎
国際メディア学 科専門分野	観光メディア論	M-TRS205	200	講義	4	メディア・コミュニケーションの発展とその伝達内容(コンテンツ)から生まれる観光行動・目的地・利用交通手段などの広がりへの基礎的理解を深める。	(1)観光社会学・観光メディア論に基づく観光行動・国際移動などの基礎知識を拡げる。(2)観光業・観光サービス・デジタル化・オンライン旅行会社などへの理解を深める。(3)将来の国内・国際観光・観光目的地・世界遺産などへの興味・関心・意欲を高める。(4)観光関連ビジネス・観光振興等における専門知識・コミュニケーション能力の向上。			◎	○	
	観光ビジネス論	M-TRS203	200	講義	2	観光産業を構成するそれぞれの産業分野が、移動、宿泊、食事等の基本的なサービス提供だけでなく、現地(到着地)の観光資源や関係する多くの主体との複合的な関わりやそれぞれの役割について理解する。	観光に関する最新の動向や基本的なツーリズムについて理解するとともにワーケーションなどの新しいツーリズムや観光資源、変入環境(関係する多様な主体)の役割等について理解することが出来る。	◎		○	○	
	観光マーケティング論	M-TRS204	200	講義	2	観光マーケティングやマーケットトレンドへの理解を深めるとともに、観光分野での事例を用いながらマーケティング理論の基本や、実際のマーケティング活動について学ぶ。	観光産業を素材にマーケティングの基本を学び、観光産業以外のビジネスの現場においても必要なマーケティングの基本的な考え方やフレームワークを身につけることができる。また、観光産業のマーケティング戦略やトレンドを知り、業界についての理解が深まる。	○			◎	○
	観光実務研修Ⅰ	M-ISP201	200	実習	2	実務研修(インターンシップ)を通じて、旅行会社や関連企業の業務について基礎的知識の習得と体験を行うとともに、観光が、誰に対して、どのような価値を、どのように提供しているのかを理解し、ビジネススマナを身につけるようにする。	旅行会社のマーケティングや事業の仕組み、考え方等を理解する事ができるようになる。観光客(需要側)目線、旅行会社(供給側)目線の違いについての気づきも体感出来るようになる。				○	◎
	観光先進地研修Ⅰ	M-ISP202	200	実習	2	地域の観光資源について様々な角度から体感・体験するための先進地域の事例や、観光が、誰に対して、どのような価値を、どうやって提供しているのか、等について理解を深めるための事前授業を行ったのちに観光先進地における現場研修を行う。	国内の先進地域や観光関連企業が、どのような活動を通じて観光地としての魅力発掘や魅力創造・発信等の活動を行っているのか、その活動内容や仕組み、考え方等を理解する事ができ、観光客(需要側)目線、地域の観光主体や関連組織等(供給側)目線の違いについての気づきも体感出来るようになる。			○		◎
	国際観光英語演習	M-TRS308	300	演習	2	海外および国内の観光に関わる英語表現を学ぶとともに、英語そのものの4技能の向上を図り、また観光プレゼンテーションを通してコミュニケーション力(発表力、聴解力等)の向上を目指す。	観光に関する基本的なことから英語で理解したり表現したりすることができ、また、簡単な観光プランの提示や観光案内ができる。	○		○		◎
	観光魅力創造論	M-TRS307	300	講義	2	観光はまちづくりの魅力創造することであるという基本認識から、観光を学ぶための基礎的なアプローチの仕方、地域を見る力、考える力、計画する力について学び、各地域における観光資源、観光地としての魅力の発掘・魅力創造と、それらに必要なマーケティング、ブランディング、プロモーション等についても事例をまじえながら理解を進める。	観光を通じたまちづくり等に必要観光資源について事例を通じて基礎が判る・町並み保存から世界遺産、産業遺産について事例を通じて現状や基礎的な知識が判る・新たな日常、ニューツーリズム、プレイヤー、ワーケーション等についても意味や効果判るようになる・after コロナの新しい日常、持続可能な観光がわかるようになる。	◎		○	○	
	観光マネジメント論	M-TRS306	300	講義	2	「destination management」という概念のもと、観光に関わるさまざまな主体がどのように観光地を持続的にマネジメントしているかを講義だけでなく、具体的なケース・スタディ等交えながら理解を深める。	観光についての多角的な視点を養うとともに、現実の事例を通じて、地域外の人々に響く地域の魅力の発信や、今後増加が見込まれる外国人対応、世界的課題である新型コロナへの対応等への理解を深める。	○			○	◎
	MICE産業論	M-TRS302	300	講義	2	MICE およびIR(統合型リゾート)のビジネス・産業構造や事業プロセス、さらに両者の関連性について理解する。	MICE産業の基本的な構造や地域における役割、レジャー・トラベルとビジネス・トラベルの違いなどについて理解できる。	◎				○
	観光コミュニケーション論	M-TRS304	300	講義	2	サービスマーケティングの基礎理解から、社会人として必要となるコミュニケーションスキル、観光産業で必要となるホスピタリティを学ぶとともに、観光産業でのキャリアパス、文化や習慣などの多様性やニューツーリズム等について学ぶ。	観光とコミュニケーションについて基礎を身につける。観光や旅行について自分の企画、意見、感想を具体的に相手に伝える。情報の発信と受信をサービス内容に応じた方法等を選択し提案する。広報(PR)と広告(AD)の違いと観光におけるプロモーション等が判る。異文化や多文化の基礎的な理解を通じて、訪日外国人対応の提案ができる。COVID19の発生による with/after コロナの各主体の対応がわかる、などのことができる。		◎	○		
観光実務研修Ⅱ	M-ISP302	300	実習	2	実務研修(インターンシップ)を通じて、旅行会社や関連企業の業務について基礎的知識の習得と体験を行うとともに、観光が、誰に対して、どのような価値を、どのように提供しているのかを理解し、ビジネススマナを身につけるようにする。	旅行会社のマーケティングや事業の仕組み、考え方等を理解する事ができるようになる。観光客(需要側)目線、旅行会社(供給側)目線の違いについての気づきも体感出来るようになる。			○		◎	

授業科目 区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目種別		1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー				
				講義 演習 実習 PBL など	単位			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
	国際関係学特殊講義B	M-IRE217	200 (300)	講義	4	授業科目で何を目的に学び、どのような内容の理解を狙いとするか。 流動的な国際関係の動きに応じて、現代的なテーマを設定して講義を行う。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指すし、何を到達目標とするか。 現代的な国際関係の諸問題を客観的に分析し、国際関係のいまを精確に理解すること。	多角的な視野からの幅広い知識と教養を身につけている	国際社会におけるメディアの役割を理解し、情報の受信について技術力と実践力及びコミュニケーション力を身につけている	国際社会の多様な価値観や文化を理解し、自立かつ協働して諸問題に取り組むことができる	メディアから発信される多様な情報やデータを収集・分析し、論理的で多角的かつ批判的な思考をもとづいて問題の解決に取り組むことができる	市民として社会に対して関心を持ち、グローバルな視点からメディアやコミュニケーションに関する知見や技能を活かして社会に貢献することができる